

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月12日

上場会社名 チタン工業株式会社
 コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松川 正典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 重永 俊雄
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 0836-31-4155

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,844	—	△280	—	△298	—	△399	—
20年3月期第3四半期	3,566	△1.6	△201	—	△231	—	△150	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△13.24	—
20年3月期第3四半期	△5.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	8,663	4,324	49.9	143.49
20年3月期	8,735	4,823	55.2	159.99

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,324百万円 20年3月期 4,823百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	1.2	△450	—	△450	—	△550	—	△18.25

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	30,276,266株	20年3月期	30,276,266株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	136,392株	20年3月期	124,839株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	30,146,025株	20年3月期第3四半期	28,908,205株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・通期の業績予想に関する事項につきましては、第3四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、予想数値を修正いたしました。なお、詳細は本日(平成21年2月12日)公表の「通期業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

・当事業年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、米国の金融市場の混乱に端を発した世界的な景気減速の影響を受け、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の急激な悪化など景気後退感が強まる状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は業績の早期回復と収益構造の変革を実現するため、成長事業への経営資源の集中や新規事業の育成などに積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は、高付加価値品及び新製品の出荷数量の増加並びに販売価格は正の効果により、前年同期実績を上回る3,844百万円となりました。一方、損益面につきましては、主要原燃料価格の大幅な上昇、市場環境の急激な悪化による販売数量の減少並びに大幅な減産による製造原価の上昇などの影響を受け、経常損失は298百万円となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益を計上いたしましたが、特別損失としてたな卸資産評価損、訴訟和解金及び固定資産除却損を計上いたしましたので、四半期純損失は399百万円となりました。

主要製品別の概況は、次のとおりであります。

(酸化チタン)

高付加価値品の超微粒子酸化チタンは、主要ユーザーでの使用数量の増加やUVカット化粧品向け新製品の販売が好調に推移し、出荷数量が前年同期比で11.1%増加いたしました。一方、酸化チタン全体の出荷数量は、景気後退の影響を受け、コンデンサー向け製品の出荷数量が大幅に減少いたしましたので、前年同期実績を下回りましたが、高付加価値品の出荷数量の増加や販売価格は正の成果により平均販売単価は上昇いたしました。

以上の結果、酸化チタンの売上高は2,249百万円（前年同期比 11.1%増）となりました。

(酸化鉄)

酸化鉄につきましては、トナー向け新製品の出荷数量が大幅に増加いたしました。景気後退の影響を受け、塗料向け製品の需要が減少いたしましたので、酸化鉄全体の出荷数量は前年同期実績を下回りました。一方、新製品の出荷数量の増加や販売価格は正の成果により平均販売単価は上昇いたしました。

以上の結果、酸化鉄の売上高は1,444百万円（前年同期比 4.4%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、原材料の増加などがあったものの、株式一部売却、株価下落による投資有価証券の減少、関係会社長期貸付金の一部返済などから、当第3四半期末8,663百万円と前事業年度末と比べて72百万円減少いたしました。

負債につきましては、長期借入金の返済などがあったものの、買掛金の増加、短期借入金の増加及び設備工事に関わる未払金の増加などから、当第3四半期末4,338百万円と前事業年度末に比べて426百万円増加しております。

純資産につきましては、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少、株価時価下落を受けてその他有価証券評価差額金が減少したことなどから、当第3四半期末4,324百万円と前事業年度末に比べて499百万円減少いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間におきましては、税引前四半期純損失の計上、たな卸資産の増加、有形固定資産の取得による支出、短期借入金と長期借入金の返済などの資金減がありましたものの、減価償却費、投資有価証券の売却、短期借入れなどの資金増によりまして、資金の残高は380百万円と前事業年度末に比べて20百万円増加しております。

3. 業績予想に関する定性的情報

第3四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、予想数値を修正しております。詳細は本日（平成21年2月12日）公表の「通期業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の見通しにつきましては、売上高は4,900百万円、営業損失は450百万円、経常損失は450百万円、当期純損失は550百万円を見込んでおります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等を見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業損失、経常損失がそれぞれ9百万円増加し、税引前四半期純損失は67百万円増加しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	381	361
受取手形及び売掛金	924	928
製品	1,627	1,667
原材料	603	415
仕掛品	341	284
貯蔵品	39	42
その他	44	46
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	3,961	3,747
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,256	1,320
機械及び装置(純額)	2,170	2,108
その他(純額)	460	438
有形固定資産合計	3,887	3,867
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	412	642
その他	410	486
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	812	1,118
固定資産合計	4,702	4,988
資産合計	8,663	8,735
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	690	542
短期借入金	1,000	750
1年内返済予定の長期借入金	247	247
未払法人税等	8	13
賞与引当金	13	44
その他	612	324
流動負債合計	2,572	1,921
固定負債		
長期借入金	685	808
退職給付引当金	1,024	1,061
環境対策引当金	4	4
その他	52	115
固定負債合計	1,766	1,989
負債合計	4,338	3,911

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	1,238	1,238
利益剰余金	△377	21
自己株式	△23	△21
株主資本合計	4,280	4,681
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44	142
評価・換算差額等合計	44	142
純資産合計	4,324	4,823
負債純資産合計	8,663	8,735

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,844
売上原価	3,460
売上総利益	383
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	99
賞与引当金繰入額	1
退職給付引当金繰入額	7
研究開発費	158
その他	396
販売費及び一般管理費合計	664
営業損失(△)	△280
営業外収益	
受取利息	7
受取配当金	9
不動産賃貸料	10
物品売却益	17
その他	5
営業外収益合計	51
営業外費用	
支払利息	39
手形売却損	15
その他	14
営業外費用合計	69
経常損失(△)	△298
特別利益	
投資有価証券売却益	41
特別利益合計	41
特別損失	
固定資産除却損	8
たな卸資産評価損	58
訴訟和解金	71
特別損失合計	137
税引前四半期純損失(△)	△395
法人税、住民税及び事業税	3
四半期純損失(△)	△399

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△395
減価償却費	245
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△36
受取利息及び受取配当金	△17
支払利息	39
その他の営業外損益(△は益)	△7
投資有価証券売却損益(△は益)	△41
有形固定資産除却損	8
その他の特別損益(△は益)	71
売上債権の増減額(△は増加)	4
たな卸資産の増減額(△は増加)	△200
仕入債務の増減額(△は減少)	279
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9
小計	△90
利息及び配当金の受取額	20
利息の支払額	△32
法人税等の支払額	△5
その他の収入	44
その他の支出	△100
営業活動によるキャッシュ・フロー	△163
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1
定期預金の払戻による収入	1
有形固定資産の取得による支出	△115
投資有価証券の取得による支出	△2
投資有価証券の売却による収入	111
貸付けによる支出	△3
貸付金の回収による収入	76
その他の支出	△1
その他の収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	64
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	350
短期借入金の返済による支出	△100
長期借入金の返済による支出	△123
自己株式の取得による支出	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	124
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20
現金及び現金同等物の期首残高	360
現金及び現金同等物の四半期末残高	380

当事業年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

(要約)前四半期損益計算書

区分	前第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高	3,566	100.0
II 売上原価	3,094	86.8
売上総利益	472	13.2
III 販売費及び一般管理費	673	18.9
営業損失(△)	△201	△5.7
IV 営業外収益	40	1.1
V 営業外費用	70	2.0
経常損失(△)	△231	△6.5
VI 特別利益	144	4.1
VII 特別損失	60	1.7
税引前四半期純損失(△)	△147	△4.1
法人税、住民税及び事業税	3	0.1
四半期純損失(△)	△150	△4.2

(要約)前四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税引前四半期純損失(△)	△147
2 減価償却費	234
3 貸倒引当金の増減額(減少:△)	0
4 賞与引当金の増減額(減少:△)	△30
5 退職給付引当金の増減額(減少:△)	△39
6 受取利息及び受取配当金	△23
7 その他の営業外収益	△16
8 支払利息	41
9 その他の営業外費用	25
10 その他の特別利益	△144
11 有形固定資産の除却損	40
12 その他の特別損失	11
13 売上債権の増減額(増加:△)	△189
14 棚卸資産の増減額(増加:△)	△391
15 仕入債務の増減額(減少:△)	170
16 未払消費税等の増減額(減少:△)	△11
小計	△469
17 利息及び配当金の受取額	20
18 利息の支払額	△36
19 法人税等の支払額	△5
20 その他の収入	11
21 その他の支出	△27
営業活動によるキャッシュ・フロー	△506
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入れによる支出	△1
2 定期預金の払戻しによる収入	1
3 有形固定資産の取得による支出	△147
4 有形固定資産の売却による収入	146
5 投資有価証券の売却による収入	47
6 貸付けによる支出	△4
7 その他の支出	△8
8 その他の収入	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	60
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の返済による支出	△10
2 長期借入金の返済による支出	△147
3 株式の発行による収入	418
4 自己株式の取得による支出	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	258
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△187
VI 現金及び現金同等物の期首残高	710
VII 現金及び現金同等物の 四半期末残高	523

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

主要製品別	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	前第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
酸化チタン	2,036	1,754
酸化鉄	1,283	1,472
その他	121	240
合計	3,441	3,466

- (注) 1 金額は期中平均販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
2 当社は生産に関し外注は行っておりません。

(2) 受注状況

当社は受注生産は行っておりません。

(3) 販売実績

主要製品別	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	前第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
酸化チタン	2,249	2,024
酸化鉄	1,444	1,384
その他	149	158
合計	3,844	3,566

以上